

I. 総括：2024 年度の研究体制と研究内容の概括

A. 背景と目的

ユニバーサルヘルスカバレッジ (UHC) は、持続可能な開発目標のゴール 3 でも掲げられ、国際社会の重要政策課題である。UHC は「全ての人が必要な適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態」と定義され、その進捗を促す制度の策定、改革に、各国政府が取り組んでいる。

UHC は、公的医療保険または税方式のように、保健医療財源への事前払い方式 (Prepayment System) を導入し、高額な医療費の自己負担から保護 (Financial Protection) する一方、支払い機関からサービス提供者への支払い機能を活用し、保健医療サービスの効率性と質を図る制度を推奨している。具体的には、UHC を可能にする制度要件として、次の点が挙げられている：(1) 財源への事前払い方式を用い資源プールと所得とリスクの再配分を促す；(2) 制度への加入を義務化；(3) 公的資金の投入による脆弱層の保護；(4) 医療機関への支払い制度に「Strategic Purchasing」の概念を適用し、効率的で良質な保健・医療サービスの提供を図る。

本研究は、国際社会での UHC の概念の変遷と新しい要素を同定し、グローバルヘルスにおいて我が国が UHC の領域で行うべき施策を纏めることを目的とする。具体的には、国際政策レビューにより、新しいテーマを、探索的手法を用いて特定する一方、近年、すでに重要なテーマとして周知されている「健康危機」と「サービスの質」をサブテーマとして取り上げ、UHC との相互関連性について理解と知見を深める。特に、コロナ禍を経て健康危機の政策対応に関する国際議論が高まる中、UHC の視点から概念を整理し、低中所得国で平時から健康危機に備えておくべき保健システムの要件を、文献レビューとステークホルダーの経験を基に纏める。また、近年、UHC の礎石として効果的で安全なサービスの重要性が指摘されており、UHC 改革におけるサービスの質の向上に関し、概念とエビデンスを整理し、低中所得国に有用な政策提言を纏める。

B. 研究の構成と手順

上述の通り、本研究は、（１）国際政策レビュー、（２）健康危機、（３）サービスの質の三つのテーマから構成される。各テーマは、次の成果の創出を目的とする。

- （１） 国際政策レビュー：①国際政策文書における UHC の新たな要素に関する年次推移の纏め、②UHC と周辺分野の関連性に関する学術的、技術的な動向の分析と概念整理、③UHC の新たな要素の推進に関し、今後我が国が取り得る施策オプション
- （２） 健康危機：①UHC と健康危機における保健システム強化及びその他要素の概念整理、②低中所得国での健康危機時の保健システム上の課題の同定、③UHC の要素である「平時における健康危機への備え」に向けた保健システム強化に関し、我が国の国際協力の指針や施策への提言
- （３） サービスの質：①サービスの質の向上を図る政策ツールの整理、②UHC におけるサービスの質の向上に資する施策オプション

研究の実施・運営において、本研究を構成する３つのテーマを次の５つのワーキンググループ（WG）に分け、活動を行った。

WG 1：UHC に関する政策トラッキング（Prospective review）

WG 2：UHC 国際政策レビュー（Retrospective review）

WG 3：健康危機（パンデミック）と UHC に関する概念の整理

WG 4：健康危機（パンデミック）と保健医療財政

WG 5：UHC と保健医療サービスの質

また、本研究班の最終的な目的は、我が国の UHC における国際貢献の指針をまとめることにあり、日本の国民皆保険の経験に基づく教訓を分析するため、日本の公的保健医療制度の公平性の分析も併せて実施する。

C. 2024 年度の進捗の概要

国際政策レビュー

WG 1：政策トラッキング（Prospective review）

政策トラッキング用のプロトコール（情報源、抽出情報のストレージ、テーマ（コード）分類、サマリーテンプレート）を作成し、継続的に情報収集とレビューを実施、２ヶ月毎に、

サマリーレポートを作成した。6つの要素（国と地域、UHC の概念、アプローチ、評価・測定、ヘルスシステムとの関連、疾患別課題、グローバル・イシュー）を含む枠組みを用い、対象期間中の頻出テーマの同定と内容の整理を行った。

WG 2：政策レビュー（Retrospective review）

政策レビューの対象組織・団体の検討および政策文書の種類を決定し、第1段階として WHO の世界保健総会の決議および決定とその関連文書のうち、UHC に関連するものを同定、収集し、テーマ分析を行った。

健康危機（パンデミック）

WG 3：パンデミックと UHC に関する概念の整理

効率的に作業を進めるため WG 2 と連携し、政策レビューで収集した UHC に関する政策文書及びその関連文献から健康危機に関するものを選別し、情報の抽出と整理を開始した。

WG 4：パンデミックと保健医療財政

低中所得国のパンデミック時の保健医療財政上の対応について、簡易レビューを実施した。コロナ禍、低中所得国では、政府の資金調達と管理の機能が重要であることが分かったため、次年度の活動に向けて、パンデミックと公共財政管理に関するスコーピングレビューのプロトコールを作成し、文献検索とレビューを開始した。

サービスの質

WG 5：保健医療サービスの質に資する政策介入

2段階の文献レビュー（迅速レビューと本格レビュー）を採用した。サービスの質の向上に関する迅速レビューを行い、3つのレベル（制度、組織、コミュニティ）の介入から一つずつ、本格文献レビュー用のテーマを選定した：（1）支払い制度上の政策ツールと医療の質、（2）医療従事者の内的動機付けと政策ツール、（3）ソーシャルメディアと医療サービスの質。各テーマの文献レビュープロトコールを作成し、文献検索、レビューを開始した。

日本の公的保険医療制度の公平性の分析では、保健・医療アクセスの水平的公平性の分析及び社会経済的要因による健康格差の分析を行った。